

発行にあたって

新宿のまちは、西新宿の高層ビル街、新宿駅周辺の繁華街、神楽坂のような江戸情緒のある街並み、さらに地場産業の印刷製本関係の工場が集まる地域や閑静な住宅街など、さほど広くはない区域にさまざまな顔を持っています。これらの地域の個性がどのように形づくられてきたのか、また、現在の新宿のまちが抱える課題はどこにあるのか、さらに、今後のまちづくりをどのように進めていくのかを地域の皆さんと一緒に考えていくための共有の資料として本書を作成しました。

本書は、現在の新宿のまちを捉えるにあたり、まちの成り立ちや土地利用の歴史を踏まえ、平成28年度に行った「土地利用現況調査」のデータを分析し、さまざまな角度から現況を捉えることで、地域ごとの特性や課題をわかりやすく示したものです。

新宿区は、平成29年12月に基本計画と都市マスタープランを一体とした「新宿区総合計画」の策定に合わせて、「新宿区まちづくり長期計画」を新たに策定し、将来の都市像“暮らしと賑わいの交流創造都市”の実現に向けたまちづくりを進めます。

本書が、新宿のこれからのまちづくりに関わる多くの方々に活用されれば幸いです。

平成30年3月
新宿区都市計画部

